

看護部

1. スタッフ構成

- 青野 洋子(看護部長)
- 越智 文子(副看護部長)
- 阿部 カナエ(副看護部長)
- 濱田 理恵(副看護部長)
- 矢野 奈美(副看護部長)

■ 看護職員状況(2024 年 4 月 1 日現在)

	在籍数	産休 (産前)	産休 (産後)	育休	病休 休職等	実人数
正規	821	5	3	64	13	
看護師	710	5	3	64	13	625
新規採用者(新卒)	60					60
短時間勤務看護師	51					51
小計	821	5	3	64	13	736
会計年度任用職員	147			2	1	
看護師(日々)	19					19
看護師(パート)	42			1		41
准看護師(日々)	1					1
保育士・管理栄養士・介護福祉士(日々)	10				1	9
保育士・管理栄養士・介護福祉士(パート)	1					1
病棟看護アシスタント(日々)	27					27
病棟看護アシスタント(パート)	9					9
病棟クラーク(日々)	12					12
病棟クラーク(パート)	1					1
外来助手(日々)	8					8
外来助手(パート)	1					1
クリニカルアシスタント(日々)	9					9
事務補助(日々)	7			1		6
小計	147	0	0	2	1	144
合計	968	5	3	66	14	880

■ 2024 年度採用

新規採用者:52 名(既卒:5 名、新卒:47 名)

2. 認定資格取得

資格名	資格取得者
日本看護協会	
がん看護専門看護師	武田千津
新生児集中ケア認定看護師	西田ありさ
がん化学療法看護認定看護師	山下広恵、池内靖恵
乳がん看護認定看護師	外山修子
救急看護認定看護師	山下さつき、矢野奈美、山崎誠
集中ケア認定看護師	中村京子
緩和ケア認定看護師	西谷恵

感染管理認定看護師	岩本悟志、宇都宮麻美子、奥野恵子、若林美代子
手術看護認定看護師	渡部早人、今井幹也
小児救急看護認定看護師	藤原優子
皮膚・排泄ケア認定看護師	久保美千代、和田理枝
摂食嚥下障害看護認定看護師	山下かおり
認知症看護認定看護師	玉利未来
糖尿病看護認定看護師	兵頭佳代子
慢性心不全看護認定看護師	重川みか
クリティカルケア認定看護師	越智康弘

3. 運営方針

<理念>

愛媛県立中央病院看護部は常に看護の本質を追求し、ぬくもりのある質の高い看護を提供します。

<方針>

- 看護職として生命の尊厳・患者さんの権利を尊重します。病院の目指す方向を理解し、専門職としての役割を認識するとともに、その時代背景に応じた安全で質の高い看護を提供します。
- チーム医療の要として、多職種チーム医療の推進役を担います。
- 病院組織で働く人間として、社会人・組織人としての行動が取れるとともに、看護の専門職業人に必要とされる知識・技術・態度を磨き、自らの成長に向け努力できる看護師を育成します。
- 職場環境の整備を行い、働き続けられる職場づくりを行います。
- 健全化を目指し、効率的な病院経営に参画します。

4. 実績

<看護サービス目標>

患者の退院後の生活(人生)を見据え、患者と家族の望む生活(人生)が送れるよう個人を尊重した看護ケアを提供する。

<看護部目標>

- 安全で質の高い看護ケアの提供
- 人材育成の推進
- 職場環境の改善

2023 年 2 月より入退院支援加算 1 が算定されることとなり、さらに入退院支援の充実に向けた取り組みを各部署で行いました。2023 年度入退院支援加算 1 取得件数 3,369 件(前年比+679 件)。

入院早期から患者・家族への要望を確認し、多職種によるカンファレンスを行い、早期退院支援に取り組みました。その結果、退院支援計画書への着手率が上昇しました。また、退院困難事例に対しても退院後の生活を見据えた看護ケアが提供できるよう、認知

症ケアや呼吸ケアチームの介入も含めた看護過程の展開に努めました。それらを病棟に引き継ぐことで救命センター退室後の在院日数短縮に繋がったのではないかと考えます(救急診療科:22 日→19.6 日、整形外科:29 日→21.9 日、脳神経外科:20 日→13.9 日)。

今後の課題として、退院後も患者が望む生活(人生)を送るためには、提供された看護が引き継がれ実践される必要があります。入院早期から患者・家族の生活を見据え、病状や治療過程に応じた多職種連携や部署間の連携に取り組む必要があると考えます。

人材育成の推進については、看護長・次席が協同し、看護職員研修支援ガイドを活用して、スタッフのキャリア支援・育成に取り組みました。また、新人看護師の育成に対しては、実地指導者リーダーを育成すること、認定・専門看護師や次席が新人研修に参加することで Off-JT と OJT が連動し、指導のポイントを押さえた指導ができました。各部署では標準教育スケジュールに則った OJT を進めることができました。キャリアラダー認定については、新規採用者のラダーIクリア 86%、2 年目看護師ラダーIクリア 91.6%、主任・専門員ラダーIIIクリア 30.7%でした。

■ 2023 年度 県立病院看護職員研修(4 病院合同)

研修名	目的	担当講師	開催日	参加
ラダーレベルI トライ				
①既卒新規採用者看護職員研修 ②新卒新規採用者看護職員研修 ③新卒新規採用者リフレッシュ研修	1.県立病院の理念と組織を理解し、専門職業人としての自覚を養う 2.基礎的な看護の知識・技術を習得し、安全で安楽な看護を提供できる力を養う	県立病院課 他	①5 月 11 日 ②5 月 11～12 日(宿泊) ③10 月 27 日	①11 名 ②64 名 ③54 名
ラダーレベルII トライ				
フィジカルアセスメント I	対象者の健康状態を把握するために必要なフィジカルアセスメント能力を養う	救急看護認定看護師 矢野奈美 救急看護認定看護師 山崎誠 集中ケア認定看護師 中村京子 小児救急看護認定看護師 藤原優子 クリティカルケア認定看護師 越智康弘 救急看護認定看護師 渡部大志 集中ケア認定看護師 加藤あゆみ	7 月 31 日 or 8 月 1 日、 9 月 7 日 or 8 日	75 名
看護過程の展開(基礎)	看護過程の展開をするための基礎的な能力を養う	県立医療技術大学 教授 松井美由紀	8 月 14 日、9 月 14 日	57 名
[新企画]入退院支援	地域連携システムを理解し、入退院支援・地域連携・多職種連携協働における看護師の役割や、必要な知識を学び活用する	上智大学総合人間科学部看護学科 教授 坂井志麻	6 月 30 日	50 名
ラダーレベルIII トライ				
看護倫理I	自部署における倫理的問題や課題を明確にし、自身の役割や責任を理解した上で看護者として倫理的意思決定支援ができる	がん看護専門看護師 武田千津	6 月 27 日、7 月 25 日	29 名
フィジカルアセスメント II(症例編)	フィジカルアセスメントの理解を深め、臨床で活用できる	救急看護認定看護師 矢野奈美 救急看護認定看護師 山崎誠 集中ケア認定看護師 中村京子 小児救急看護認定看護師 藤原優子 救急看護認定看護師 渡部大志	6 月 11 日	27 名
看護過程の展開(実践)	看護過程と理論の関係を理解し、個別性のある看護計画を立案・問題解決をできる知識と技術を習得する	各病院にて開催 ①愛媛県立中央病院 ②愛媛県立新居浜病院	①10 月 4 日、 11 月 1 日 ②9 月 29 日、10 月 25 日、12 月 20 日	①16 名 ②3 名
看護倫理II(意思決定支援)	ケアの受け手や周囲の人々それぞれに応じた意思決定に必要な支援ができる	がん看護専門看護師 武田千津	11 月 8 日	25 名
マネジメントI ～リーダーシップの基本を学びチーム運営を成功に導く～	リーダーシップを発揮してチーム運営で成果を上げる	NPO 法人病院経営支援機構 アソシエイト 山下まゆみ	10 月 20 日	23 名

今後の課題としては、組織の管理者や教育担当者などは、看護職が日々の看護実践を通じた経験や研修などで得た知識をさらに次の実践に活かせるよう支援することが重要です。研修の学びを現場で活かせるよう部署の学習環境を整え、看護師個々の実践対応力の向上を目標に掲げ、取り組んでいく必要があると考えます。

職場環境の改善については、昨年度取り組んだ 8 時 30 分始業開始を各部署で継続・定着するための検討を行いました。働き方改革の流れや労務管理に関するスタッフの意識が変わってきたことも感じられ、今後も各部署で定着化を図る必要があると考えます。さらに今後は夜勤の始業開始時間の検討も課題と考えています。

看護師の負担軽減などを目的に、12 月から夜間看護補助者を導入しました。病棟看護アシスタントの業務や周辺業務の移譲などによりタスクシフトに繋がっています。看護補助者業務検討会を中心に、看護補助者研修の企画・開催、チューターのラウンドや OJT による個別指導により、看護補助者の教育・育成および質の担保にも努めました。今後は業務分担を理解した上での看護師の適切な指示や看護ケア実施の確認を行う必要があります。

人材育成I(教育技法) 看護現場で使える理論と技法～経験から学ぶ力を育てよう～	対象に合わせた教育技法を理解し現場で活用することができる	愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 教授 中井俊樹	7月14日	27名
人材育成II ファシリテーションの基本 リーダーシップに不可欠!～組織を活性化させるファシリテーション～	ファシリテーターの役割を理解し組織の中で円滑な合意形成に導く能力を養う	ひとづくり工房 esuco 代表 浦山絵里	9月22日	18名
理論研修(中範囲理論)	理論を用いて、対象を理解し、適切な看護介入を行う能力を養う	NPO 法人看護キャリア開発センター 代表 下山節子	6月23日、11月17日	8名
看護研究の基礎	看護研究の一連のプロセスについての基礎知識を学ぶことができ、研究的な視点を養う	県立医療技術大学 教授 野本百合子 各病院看護研究委員	6月9日、7月21日、 8月24日、10月2日 (4回まで Web)、11月13日(集合)	21名
セルフマネジメント より良い職場コミュニケーションの実践～アサーティブコミュニケーション	アサーティブコミュニケーションを活用し、お互いを尊重しながら相手と良い関係を保つことが出来る	(株)ハートセラピー 杉山修	10月13日	21名
ラダーレベルIV トライ				
フィジカルアセスメントII(症例編)	フィジカルアセスメントの理解を深め、臨床で活用できる	救急看護認定看護師 矢野奈美 救急看護認定看護師 山崎誠 集中ケア認定看護師 中村京子 小児救急看護認定看護師 藤原優子 救急看護認定看護師 渡部大志	6月13日	24名
中範囲理論(中範囲理論)	理論を用いて、対象を理解し、適切な看護介入を行う能力を養う	NPO 法人看護キャリア開発センター 代表 下山節子	6月23日、11月17日	24名
マネジメントII ～マネジメントの基本を学び、よりよい看護サービスを考える～	マネジメント力を発揮し、部署や組織の課題を明らかにし変革に取り組む	NPO 法人病院経営支援機構 山下まゆみ	11月10日	19名
人材育成II ファシリテーションの基本 リーダーシップに不可欠!～組織を活性化させるファシリテーション～	ファシリテーターの役割を理解し組織の中で円滑な合意形成に導く能力を養う	ひとづくり工房 esuco 代表 浦山絵里	9月22日	17名
役割				
看護管理者育成 教え上手になろう～上手な教え方の知識とスキルを学び、人と組織を育む力を養う～看護長	「教え方」についての基本を学び、実践をとおして、自ら学べる看護人材を育成するための教育体制と組織づくりができる力を養う	ラーンフォレスト合同会社 代表 林博之	9月9・10日	58名
看護管理者育成 教え上手になろう～上手な教え方の知識とスキルを学び、人と組織を育む力を養う～次席	「教え方」についての基本を学び、実践をとおして、自ら学べる看護人材を育成するための教育体制と組織づくりができる力を養う	ラーンフォレスト合同会社 代表 林博之	9月29・30日	73名
災害				
災害研修(公開研修) 病院内での災害時のケア(1日目) 災害時拠点病院の役割とリーダーシップ(2日目)	災害時の備えについて理解できる 災害時の対応がわかる 災害拠点病院の機能がわかる 災害看護に必要な知識・技術を習得し実践で活用する力を養う	災害医療センター長 馬越健介 救急看護認定看護師 山下さつき 救急看護認定看護師 矢野奈美 集中ケア認定看護師 中村京子 救急看護認定看護師 山崎誠	12月7・8日	35名 (うち他施設21名)
トピックス				
アサーティブコミュニケーション(公開研修)	アサーティブコミュニケーションを活用し、働きやすい雰囲気を作り協働してチーム活動の成果をあげる	一般社団法人 スキルドエヒメ 天野淑子	9月16日	53名 (うち他施設23名)

【専門・認定看護師活動報告】

○がん看護専門看護師活動:武田千津

(1) 院内活動

＜がん治療センター運営委員会＞

- ・ がん治療センター運営委員会参加(3月7日、6月22日)

【緩和ケアチーム】

- ・ 緩和ケアチームラウンド(1回/週)
- ・ 緩和ケアチーム依頼延べ患者数:4名
- ・ 緩和ケアスクリーニング延べ件数:1,249件
- ・ 緩和ケアチームラウンド延べ患者数:281名
- ・ 緩和ケア研修会(7月29日)

【がんゲノムチーム】(2月14日、6月2日)

- ・ エキスパートパネル(1回/週) 参加
- ・ 当院エキスパートパネル出検数:58件
- ・ がんゲノム医療連携病院説明会(1回/月) 参加
- ・ 院内がんゲノム勉強会(7月10日)

【AYA世代がん患者支援チーム】

- ・ キックオフミーティング(4月27日)
- ・ 症例カンファレンス(7月以降1回/月)
- ・ 係会・ミニ勉強会(1回/2か月)
公的助成について(9月4日)、両立支援について(11月6日)

【地域がん診療連携拠点病院 WG】

① がん相談支援センター

- ・ 全相談4,212件のうち761件を担当(18.1%)

② キャンサーボード

- ・ キャンサーボード参加(第2・4木曜日8:00～8:15)
- ・ 臨時キャンサーボードコーディネート(6月13日、8月3日)

③ 市民公開講座企画(愛媛 CATV 放映、当院 HP で配信)

- ・ 第31回『がん診療に対する当院の取り組みをご紹介します』
「愛媛県立中央病院のがん相談支援センターを知っていますか?」箱岡由香
「がん医療における薬剤師業務～活動範囲拡大中!～」玉井宏一(2023年8月公開)

④ 症例検討会企画(がん治療センター・地域医療連携室主催)

- ・ 第129回医療連携懇話会(8月9日)「終末期患者さんへの連携のタイミングを考える」(当院消化器内科医師、外来看護師、地域医療連携室看護師、地域の医療機関および介護支援専門医からの発表・意見交換)

⑤ ルタテラ WG(1月13日、2月13日、5月15日)

- ・ 担当振り分け、実施に向けた準備

(2) その他の院内活動

- ・ 患者支援室運営委員会(2月24日、6月7日)
- ・ 臨床倫理問題検討部会(9月21日、10月19日:LGBTQ勉強会)
- ・ 専門・認定看護師会(3月10日、5月12日、10月13日)
- ・ 新人Ⅲ期研修 看護倫理(10月12日)
- ・ 県立病院看護職員合同研修「看護倫理I」講義(6月27日、7月25日)
- ・ 県立病院看護職員合同研修「看護倫理II(意思決定支援)」講義(11月7日)
- ・ 部署カンファレンスへの参加:入院サポートセンター(2月8

日)、外来全体会(3月14日)、外来化学療法室(3月22日)、総合診療科(5月1日)、10階西病棟(5月16日)、9階東病棟(6月8日)、外来全体会(7月19日)、外来全体会(9月28日)

(3) 院外活動

- ・ 愛媛県がん診療連携協議会がん看護専門部会がん看護実践能力向上研修 企画委員
- ・ がん看護実践能力向上研修「危機理論」講師(9月19日)
- ・ ELNEC-Jえひめ ファシリテーター(8月19・20日)
- ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院協議会緩和ケア専門部会(7月14日、12月18日)
- ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院協議会相談支援専門部会(7月20日)
- ・ 相談員研修ワーキング がん相談員研修 企画・運営
- ・ 相談員研修(9月2日、11月11日) 企画・ファシリテーション
- ・ 松山看護専門学校講義(5月19日)
- ・ 愛媛県立医療技術大学講義(7月13日)

(4) 自己研鑽

- ・ 相談員研修QA研修(9月2日)
- ・ 第10回日本CNS看護学会 Web参加(6月)
- ・ 第44回死の臨床研究会 ポスターセッション 座長(11月25日)

○新生児集中ケア認定看護師活動:西田ありさ、大石春香

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	名称	対象
11月16日、 2月15日	新生児蘇生一気管挿管の介 助一	産科病棟助産師

■ 自部署研修(自部署対象)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月20日、 5月2日	DPAP/ネーザルハイフ ロー管理中の看護	NICU/GCU転入看護師
5月25日	NICUでの患者観察の基本	NICU/GCU新人看護師
8月7・8・9・ 11・12日	早産児の呼吸の解剖 生理	NICU/GCU看護師
8月19・20・ 23・26・29日	早産児の呼吸器合併 症	NICU/GCU看護師
9月12・13・ 15・20日	呼吸器設定SIMV、 SIMV-VGについて	NICU/GCU看護師
9月22・24・ 28・30日	呼吸器設定HFO、 HFO-VGについて	NICU/GCU看護師
10月13・14・ 16・20・21・ 23・27日	気管吸引のアセスメン ト	NICU/GCU看護師
10月16・21・ 26・27日	気管吸引(技術)	NICU/GCU看護師
10月20・23・ 26・27日	人工呼吸器管理中の 加温加湿	NICU/GCU看護師
11月6・9日	ポジショニング	NICU/GCU看護師
11月11・13・ 16日	体位変換	NICU/GCU看護師
11月16日	新生児の輸液管理	NICU/GCU看護師

(2) 院外活動

■ 学会発表・参加

開催日	名称
6月3日	第40回四国新生児医療研究会(座長・発表) 愛媛

■ 院外講師(看護学校・看護協会)

開催日	名称	対象
9月9日	新生児蘇生法講習会 A コース	院内看護師、助産師
11月24日	多施設合同新人助産師研修 新生児のフィジカルアセスメント	愛媛県新人助産師
12月7日	NICU 看護－低出生体重児の特徴	松山看護専門学校 第2看護学科49期生
12月21日	NICU 看護－家族の理解と援助－	松山看護専門学校 第2看護学科49期生
1月20日	新生児蘇生法講習会 B コース、S コース	院外医師、助産師

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- ・ NICU・GCU看護師が人工呼吸器管理中の看護が実践できるよう、OJTを行いました。
- ・ 新生児の人工呼吸器管理中の看護知識・技術のチェックリストを作成し、活用を開始しました。
- ・ 人工呼吸器管理中の計画外抜管予防としての身体行動制限に関するプロトコルに沿って個別的なカンファレンスを実施しました。

<指導>

- ・ 新人看護職員研修内容とNICU教育を関連させた内容とし、新生児科領域の勉強会を開催し、指導しました。
- ・ 新生児の人工呼吸器管理中の看護に関する勉強会を実施し、参加した看護師の理解度を確認しながらOJTを進めていきました。
- ・ 新生児のフィジカルアセスメントや急変時対応のシミュレーション教育を実施しました。
- ・ 出生直後の新生児に対する気管挿管の介助について産科病棟でシミュレーション教育を実施しました。

<相談>

栄養管理や急変時の対応等、NICU・GCU で起こったインシデントに対して、RCA 分析会を行い、対策を検討しました。人工呼吸器管理中の看護ケア(ポジショニング、体位変換、計画外抜去予防のケア)については患者を担当しながら相談者と解決し、看護計画へ反映、継続看護に繋げました。

○がん化学療看護認定看護師活動:池内靖恵、山下広恵

(1) 院内部署活動

<実践>

① 12 階東病棟実績

- ・ 入院患者数:696人(前年666人)
- ・ 化学療法実施件数:3,198件、日別:8～9件(前年2,488件)
- ・ 実施レジメン件数:965件

② 外来化学療法実績

- ・ 外来実施件数:9,461件(前年9,234件)、日別:15～64件(前年20～67件)
- ・ 患者数:1,089人(前年1,050人)、新規患者数:494人(前年465人)

※2020 年 2 月以降、抗悪性腫瘍薬皮下・筋肉注射は各診療科および中央処置室で実施。実施総数:2,070 件(前年 1,804 件)〔血内/乳腺/婦/消外/小児〕

<活動内容>

① 12 階東病棟

- ・ 移植治療や化学療法を受ける患者への多職種で連携した患者・家族の意思決定支援、セルフケア支援
- ・ 化学療法・移植治療に関する教育スケジュールの整備やキャリアアップとスタッフの育成
- ・ 他科(呼吸器、消化器)化学療法の投与管理支援

② 外来化学療法室

- ・ 多職種による運用検討:患者入室待ち1時間未満への取り組み
- ・ 時間外延長患者の影響要因分析と診療科への協力依頼
- ・ 患者・家族への『スキンケア』セルフケア支援への取り組み
- ・ 肝臓癌治験:部署勉強会の参加、実施支援
- ・ 新人ローテーション研修(12月)3人
- ・ がん看護実践能力向上研修会 他部門実習(10月)1人

(2) 院内活動

- ・ がん治療センター運営委員会(3月7日、6月22日)
- ・ 化学療法チーム会(1回/月 計12回)
- ・ 化学療法マニュアル改訂
- ・ 院内クリニカルパス(化学療法パス)作成検討
- ・ レジメン審査委員会〔2018年発足〕(1回/月 計12回)
- ・ 緩和ケアリンクナース育成研修WG(1回/月) 企画・運営
- ・ 管理料取得:がん患者指導管理料イ:3件、ロ:3件
- ・ チームICI(immune checkpoint inhibitor)〔2017年発足〕
2022年11月 ICI使用状況報告第48報 報告
- ・ 抗がん薬曝露対策プロジェクトチーム会〔2018年発足〕:
2019年閉鎖式薬物移送システム(CSTD)導入
レジメン変更率96%(581/605)※前年83.9%(479/571)
- ・ 髄腔内注射におけるCSTD導入の検討
- ・ 曝露対策機会別(ボトルに触れる時)チェックリスト作成
- ・ 現状把握;自己評価 8部署78人実施、遵守率74.9%
- ・ 投与管理手順書作成・院内ホームページ公開
- ・ キャンサーボード開催:定期18回・臨時2回※前年定期26回・臨時6回
- ・ がんゲノム医療連携病院エキスパートパネルWeb参加
- ・ 専門・認定看護師会参加

<指導>

■ 部署勉強会

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
11月20日	事例検討会	病棟看護師	9人
12月19日	事例検討会	病棟看護師	11人

■ 緩和ケアリンクナース育成研修の企画・運営

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
2月3日	看護レポート発表会	リンクナース	11人
6月29日	研修オリエンテーション	リンクナース	14人
7月28日～8月18日	(e-learning)症状緩和	リンクナース	14人
10月17・31日	実践研修	リンクナース	14人

■ 院内勉強会

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
6月30日	血液内科 3レジメン	12東西看護師	15人
8月30日	治療・療養の継続をサポートする	10西看護師、薬剤師	33人

11月2日	口腔粘膜炎の看護	11東看護師	13人
12月25日	静脈炎予防と対策	9東看護師	12人

<相談>

件数 71 件(前年 46 件): 自部署 24+他部署 29 件+電話 18 件

- ・ ICU投与管理支援、CSTDルート選択や投与管理方法
- ・ 稀な薬剤、内服薬の曝露対策、血管炎・漏出対策など

(3) 院外活動

<講義>

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
6月10・17日(厚生労働省造血幹細胞医療体制整備事業)	愛媛県立中央病院「看護基礎研修Ⅰ・Ⅱ」Web「造血細胞移植患者の看護教育に必要な基礎知識とセルフケア支援」講義	医師 薬剤師 看護師 その他	67人 53人
6月12日	成人看護学方法論Ⅱ「がん化学療法を受ける患者の看護」	松山看護専門学校第2看護学科2学年	29人

<リソースナース活動>

- ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院・専門部会報告会Web参加(1月19日、8月5日)
- ・ がん看護実践能力向上研修Web公開講座『意思決定を支えるケア』院内グループワーク支援(9月15・19日)
- ・ 研究調査協力:3種類、自部署・他部署13人へ依頼実施

<自己研鑽>

- ・ 第34回日本緩和医療学会主催教育セミナーWeb聴講(1月22日)
- ・ 日本看護協会主催 2022年度がん看護領域の認定看護師対象のキャリアアップ研修会受講(2月18日)
- ・ 第37回日本がん看護学会学術集会Web聴講(2月25・26日)
- ・ 久留米大学認定看護師教育センター主催「第26回認定看護師のためのフォローアップ研修:看護研究について」受講(3月11日)
- ・ Virtual Cross Talk 各専門施設から学ぶWeb(4月19日)～チーム医療と大腸癌治療の最大化をめざして～医師・看護師4人参加
- ・ コバヤシセミナー『抗がん薬曝露で最低限知っておきたい知識Part123』Web聴講(5月9日)
- ・ がん遺伝子パネル検査院内勉強会」参加(7月10日)
- ・ パス大会「理解してパスをしよう」参加(7月18日)
- ・ TERUMO CVポートWebinar「手技背景から術後管理」聴講(7月25日)
- ・ 第129回医療連携懇話会「終末期患者さんへの連携のタイミングを考える」参加(8月9日)
- ・ 第5回がん患者さんのための総合支援聴講(8月26日)
- ・ TEAM PARALLEL LAB「外来治療センターの運用に向けた取り組み」Web聴講(9月25日、10月23日、11月20日)
- ・ 第6回日本腫瘍循環器学会学術集会参加 神戸(9月30日～10月1日)
- ・ 第61回日本癌治療学会学術集会参加 横浜(10月19日～21日)
- ・ Abbott Nutrition Web Seminar～Meet the Expert～がん治療と有害事象、サルコペニア対策聴講(10月20日)
- ・ 第21回がん臨床試験協力セミナー受講 横浜(10月21日)

- ・ 日本放射線腫瘍学会/日本がん看護学会主催「第39回がん放射線治療看護セミナー」受講(11月11日)
- ・ 第1回東海大学医学部付属病院がんセミナー「がんゲノム医療って何?」Web聴講(11月25日)
- ・ 愛媛県がん診療連携協議会「多職種チームで取り組むがん薬物療法研修会」医師・薬剤師・看護師3名受講(12月9日)

○乳がん看護認定看護師活動:外山修子

(1) 院内活動

<実績>

- ① 乳がん手術パス入院患者:172 件
- ② 乳がん化学療法(CE 療法初回)入院患者:44 件
- ③ 乳がん化学療法(トラスツズマブ初回)入院患者:10 件
- ④ 乳がん化学療法(トラスツズマブ+ペルスツズマブ+ドセタキセル初回)入院患者:15 件

<活動内容>

- ① リンパ浮腫指導管理料:40 件(入院)、22 件(外来)
- ② がん患者指導管理料イ:計 37 件
- ③ がん患者指導管理料ロ:計 23 件
- ④ がん患者指導管理料ニ:計 45 件
- ⑤ 乳腺・内分泌外科
 - ・ 病棟・外来カンファレンス(毎週火曜日17:00～)
 - ・ 術後リハビリ、ボディイメージ受容への支援、自己検診の、退院後指導を中心にパンフレットを使用し、入院中の患者指導を実施

■ 病棟勉強会

開催日	テーマ(内容)	対象
8月29日	入退院支援について	病棟看護師
9月27日	デスカンファレンス	病棟看護師
11月24日	意思決定支援について	病棟看護師

■ 緩和ケアリンクナース研修の企画・運営(3 回/年)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
2月3日	看護レポート発表会	リンクナース	11名
6月29日	オリエンテーション	リンクナース	14名
10月17・31日	実践研修会	リンクナース	14名

■ がんサロンの企画・運営

開催日	テーマ(内容)	参加人数
1月11日	「一緒にお話しませんか」	なし
2月8日	「一緒にお話しませんか」	1名
3月8日	「一緒にお話しませんか」	1名
4月12日	「一緒にお話しませんか」	なし
5月10日	「一緒にお話しませんか」	1名
6月14日	「一緒にお話しませんか」	3名
7月12日	「一緒にお話しませんか」	2名
8月9日	「一緒にお話しませんか」	2名
9月13日	「一緒にお話しませんか」	4名
10月11日	「一緒にお話しませんか」	1名
11月8日	「一緒にお話しませんか」	1名
12月13日	「一緒にお話しませんか」	3名

<がん治療センター運営委員会>

- ・ がん治療センター運営委員会参加(3月7日、6月22日)
- ＜がんゲノムチーム＞
- ・ チーム会参加(2月14日、6月2日)
- ＜AYA世代がん支援チーム＞
- ・ 毎月第1月曜日チーム会参加 症例検討(1月15日、2月5日、3月4日)
- (2) 院外活動
- ・ 愛媛県がん診療連携拠点病院がん相談専門部会 Web参加(7月20日)
- ・ PEACE緩和ケア研修会のファシリテーター(7月29日)
- ・ サロン担当者交流会 Web参加(3月20日、10月31日)
- (3) 自己研鑽
- ・ 第37回日本がん看護学会学術集会参加(2月25・26日)
- ・ 第31回日本乳癌学会学術総会参加(6月30日～7月1日)
- ・ 日本乳がん学会中四国地方会(9月22・23日)
- ・ 日本乳がん看護研究会CNスキルアップセミナー参加(11月10日)
- ・ 日本乳がん看護研究会参加(11月11日)

○救急看護認定看護師活動:山下さつき

(1) 院内活動

■ 研修・勉強会

開催日	テーマ(内容)	部署	対象
2月13・20日、3月10日	急変時対応シミュレーション	ICU	看護師
3月2日	急変時対応シミュレーション、一次救命処置	地域医療連携室	看護師、MSW
3月14日、9月15日	急変時対応シミュレーション	6階西病棟	看護師
7月20日	急変時対応シミュレーション	8階西病棟	看護師
8月2日	急変時対応シミュレーション	内視鏡室	看護師
9月5日	急変時対応シミュレーション	5階産科	看護師、助産師
9月20日	急変時対応シミュレーション	9階西病棟	看護師
10月3日	急変時対応シミュレーション	人工透析室	看護師、臨床工学技士
10月19日	急変時対応シミュレーション	6階東病棟	看護師
10月27日	急変時対応シミュレーション	10階東病棟	看護師
10月30日	一次救命処置	生理検査室	臨床検査技師
11月2日	急変時対応シミュレーション	入院サポートセンター	看護師
11月16日	急変時対応シミュレーション	一般外来	看護師

一般外来、特殊外来、一般病棟の看護師に対して、急変時対応シミュレーションを実施しました。事例提出後、カルテより記録の確認、情報を収集し、グループワークで事例の振り返りを行い、それらがシミュレーションに活かせるよう指導を行いました。急変事例を振り返り、患者の状態変化への気づきを養うため、今後も急変時対応シミュレーションは継続する必要があると考えます。

医師以外の院内職員に対しては、2回/月、1時間×4回/日、一次救命処置の研修を実施しました。看護師の参加が少ないのが課題であるため、開始時間の変更などを検討し、看護師が参加しや

すい時間を設定したいと考えています。

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	備考
5月19日	一次救命処置	新規採用職員Ⅱ期研修	現任教育

(2) 院外活動

＜講義・研修＞

■ 医療技術大学(講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月6・13・20日	災害看護	4年生
10月23日	災害看護	2年生

■ 松山看護専門学校(授業)

開催日	テーマ(内容)	対象
5月30日	一次救命処置	第2看護学科学生
8月28日、9月4日	成人看護学方法論(急性期看護)	第2看護学科学生

■ 4 病院合同研修 公開研修

開催日	テーマ(内容)	依頼
12月7・8日	災害看護研修	県立病院課

＜リソースナースとしての活動＞

- ・ 愛媛県看護協会リソースナース・マネージメント委員会(第4水曜日)
- ・ リソースナース交流集会(5月27日)

○救急看護認定看護師活動:矢野奈美

(1) 院内活動

■ 院内研修企画・開催、院内研修・依頼

開催日	テーマ	内容	依頼
5月19日	フィジカルアセスメント①	患者観察の基本	院内現任教育
5月19日	BLS	院内急変対応	院内現任教育
6月12日	フィジカルアセスメントⅡ	患者のニーズをとらえる力	県立病院課
6月16日	フィジカルアセスメント②	呼吸を整える援助 誤嚥予防の看護	院内現任教育
7月31日、8月1日	フィジカルアセスメントⅠ	患者のニーズをとらえる力	県立病院課
8月3・4日	フィジカルアセスメント	ロールプレイング・技術テスト	県立病院課
9月7・8日	フィジカルアセスメントⅠ	フィジカルアセスメント2回目	県立病院課
12月7・8日	災害研修	災害時の初期対応	県立病院課

■ 定期的な活動

テーマ	内容	活動
救急カート点検	看護師不在部署のカート確認(滅菌)	毎週月曜日
搬送車の物品確認	搬送車使用後の点検を行う、必要時物品補充	毎週月曜日

(2) 実践

- ・ 「救急カート」「搬送車」点検

看護師が配属されていない部署の救急カート点検を毎週月曜日に実施しました。適時調査で指摘された救急カート内の物品の見直し、マスク、酸素延長チューブ・バックバルブマスクを一体化させ、ディスプレイしました。

患者搬送前の準備や片付けの方法などを一覧表にして、事務・搬送車内に掲示しました。2023 年度は搬送車を能登半島地震の災害派遣に使用し、再度物品の見直し、手順を修正しました。

基礎教育から「患者観察」のフィジカルアセスメント能力の向上への取り組みとして新規採用者研修、基礎研修、症状別研修と、段階を追ってフィジカルアセスメント研修をシリーズ化し、連動した研修にしています。「患者観察」用紙を作成し、情報収集から報告まで一貫して実施できるよう支援しています。また新人研修のポートフォリオにも「患者観察の基本」用紙を追加し、実践の場で活用できる取り組みにしました。現場の課題を明らかにし、2024年度の研修も現任教育、研修担当者と相談し、一貫性のある研修を行っています。

院内でRRSシステムを構築し、2023年度は41件の要請がありました。急変症例を振り返ることで急変前の観察・処置の介助なども含め教育に活用します。また認定看護師、RRSチームの看護師が部署ラウンドできる仕組みをつくり、実践の支援ができる体制をつくります。

○救急看護認定看護師活動:山崎誠

(1) 院内活動

■ 院内研修企画・開催、院内研修・依頼

開催日	テーマ	内容	依頼
5月19日	フィジカルアセスメント①	患者観察の基本	院内現任教育
5月19日	BLS	院内急変対応	院内現任教育
6月12日	フィジカルアセスメントII	患者のニーズをとらえる力	県立病院課
6月16日	フィジカルアセスメント②	呼吸を整える援助 誤嚥予防の看護	院内現任教育
7月31日、 8月1日	フィジカルアセスメントI	患者のニーズをとらえる力	県立病院課
9月7・8日	フィジカルアセスメントI	フィジカルアセスメント2回目	県立病院課
10月24日	BLS	院内急変対応	看護補助者 業務検討会
12月7・8日	災害研修	災害時の初期対応	県立病院課

■ 自主研修(各病棟からの依頼も含む)

開催日	テーマ(内容)	部署	対象
2月1日	急変時対応シミュレーション	9階東病棟	看護師
3月8日	急変時対応シミュレーション	HCU	看護師
7月18日	急変時対応シミュレーション	10階西病棟	看護師
9月22日	急変時対応シミュレーション	12階西病棟	看護師
9月29日	急変時対応シミュレーション	11階西病棟	看護師
10月30日	急変時対応シミュレーション	12階東病棟	看護師
10月31日	急変時対応シミュレーション	外来化学療法室	看護師

(2) 院外活動

■ セミナー講師

開催日	テーマ(内容)	対象
7月1日	ファーストエイドインストラクターコース	看護師
7月2日	ファーストエイド実技コース	看護師

■ 看護学校(授業)

開催日	テーマ(内容)	対象
7月5日	呼吸理学療法	第2看護学科学生

■ 愛媛県看護協会(講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
9月11日	急変時対応、BLS	砥部病院看護師

■ 定期的な活動

開催日	テーマ(内容)
毎月第1金曜日(10:30・13:30・15:30・17:00)各1時間	一般職員BLS
奇数月第4木曜	フライトナース会

(3) 実践

① 各病棟での急変学習会

実際に部署であった事例をもとに、各部署のスタッフに急変対応のシミュレーショントレーニングを行いました。

② フライトナースの育成

プレホスピタル経験のないスタッフに対して、消防機関に協力を依頼し、ワークステーション実習を経験することでプレホスピタルケアを学べる場を提供しました。また、フライトナース認定指導者としてドクターヘリについての説明、実践を通じた指導を行い、フライトナースの育成を行いました。

③ 医師以外を対象とした BLS 勉強会

救急看護認定看護師で分担し、各病棟、他部門のスタッフに対して、BLSの勉強会を実施しました。

○集中ケア認定看護師活動:中村京子

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	内容	依頼
5月9日	患者観察の基本	院内現任教育
6月16日	呼吸を整える援助	院内現任教育
7月18日	応用編	院内現任教育
6月12・13日	フィジカルアセスメントII	県立病院課
7～9月	フィジカルアセスメントI	県立病院課

(2) 院外活動

■ 看護学校講義(授業)

開催日	内容
9月19日	成人看護学方法論(急性期看護)

(3) 実践・指導・相談

<実践>

夜間に急変処置とならないよう、早期に看護(医療)介入できるようにNEWSスコアリングを作成しました。実際に病棟訪問はできなかったが、今後状態悪化の患者訪問のスクリーニングに使用していきたいと思います。また、ICU退室後、NEWSスコアリングを行い、カルテからREDスコア患者の抽出を行いました。基礎疾患に伴うREDスコアであり治療が継続されていました。今後はICU退室後のREDスコア患者の訪問を行えるように体制を整えていきます。

<指導>

他病棟からのリリーフ看護師に術後の患者の状態を踏まえながら、観察の視点と状態評価、異常の捉え方について指導を行いました。RRSシステムが稼働できるまでは、ベッドサイドでのフィジカルアセスメントを含めた患者観察や状態評価について指導を継続して行っています。

○緩和ケア認定看護師活動:西谷恵

(1) 院内活動

① 院内研修(企画・運営)

■ 緩和ケアリンクナース育成研修

開催日	テーマ(内容)	参加
2月3日	事例発表	11名
6月29日	オリエンテーション・緩和ケアとは	14名
7月28日～8月18日	症状緩和(e-learning)	14名
10月17・31日	実践研修	14名

■ 新規採用者Ⅱ期研修

開催日	テーマ(内容)	依頼
4月21日	基本的コミュニケーション	現任教育
7月18日	緩和ケアにおけるコミュニケーション	現任教育

■ 院内研修:自部署研修

開催日	テーマ(内容)
6月12日	鎮静の勉強会

- ② 緩和ケアチームラウンドへの参加(毎週月曜日 14:30～1回/週)

(2) 院外活動

■ 学会・研究会参加

開催日	名称
6月30日、7月1日	第28回日本緩和医療学会学術大会
11月26・27日	第47回日本死の臨床研究年次大会

■ リソースナースとしての活動

開催日	依頼	テーマ
3月7日	松山看護専門学校	がん患者と家族への関わり
6月14日	愛媛県立医療技術大学	看護学概論(協力者として)

(3) 実践・指導・相談

<実践>

業務の中で症状緩和が必要な患者さんに対し、カンファレンスを通して介入方法等を検討し、実践しました。

<指導>

- ・ 自部署で鎮静の看護について勉強会を開催し、その後実践の中で指導しました。
- ・ 自部署で事例検討を行い、終末期患者への看護の振り返りを行いました。

<相談>

緩和ケアラウンドや病棟内外の依頼に対して、随時対応しました。

○感染管理認定看護師活動:岩本悟志、日野恵子、宇都宮麻美子、若林美代子

(1) 院内活動

■ 院内研修(企画・講師)

開催日	テーマ(内容)	対象
5月22日	手指衛生遵守率向上に向けた取り組み(目標・計画立案について)	院内感染対策リンクスタッフ
11～12月	コロナマニュアルを見よう～院内感染対策マニュアル2023年10月改定版の内容～	全職員

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月3日	新規採用者等オリエンテーション「病院感染予防対策」	新規採用・転入職員
4月17日	新人看護師Ⅱ期研修「病院感染予防対策」	新規採用看護職員

5月8日	検査部学生オリエンテーション	検査部実習生(学生)
10月13日	研修医勉強会「インフルエンザワクチン接種について」	研修医
11月6・11日	看護補助者研修「感染予防の基礎知識」	看護長付事務作業補助者
12月1日	看護補助者研修「感染予防の基礎知識」	夜間派遣看護補助者

(2) 院外活動

■ 院外研修(講師)

開催日	依頼元・テーマ(内容)	対象
11月14日	愛媛県看護協会 災害支援ナース養成研修	災害支援ナース受講者

■ 他施設訪問指導

訪問日	訪問施設
2月14日、3月14日、5月29日	医療法人結和会松山西病院
10月31日	医療法人仁友会南松山病院

(3) 実践・活動

① 医療関連感染サーベイランスの実施(関連部署のスタッフの協力のもと実施)

- ・ 消化器外科、心臓血管外科における手術部位感染(SSI)サーベイランスの実施(JANISへデータ提出)
 - ・ 耐性菌サーベイランス
 - ・ 針刺し・切創・皮膚・粘膜曝露サーベイランス
 - ・ 手指消毒剤払出量サーベイランス
 - ・ 全入院患者部門サーベイランス(JANISへデータ提出)
- ※JANIS:厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業

② 職業感染防止策の実施

- ・ 感染制御チーム(ICT)の活動の一環として、ワクチンプログラムの立案と実施
- ・ 全職種対象のインフルエンザワクチン接種
- ・ B型肝炎・流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘)の抗体価検査と抗体陰性者へのワクチン接種
- ・ 結核患者発生時の対応:接触者調査と接触者検診の実施等
- ・ 職員の針刺し・切創、体液曝露予防策の推進と発生時の対応等

③ 感染対策リンクスタッフ会の企画・運営(6回)

主に「手指衛生遵守状況の向上」について取り組みました。各部署のリンクスタッフが、自部署の課題や問題点を改善できるようサポートしました。

④ ICTメンバーと共に感染対策ラウンドの実施(毎週)

病棟は月に1回、その他の部署は少なくとも2か月に1回、環境ラウンドを実施しました。結果は、改善活動に活かせるよう報告書として各部署に配布しました。

⑤ 地域連携

- ・ 感染対策向上加算に係る合同カンファレンスの実施:松山西病院、南松山病院との合同カンファレンスの実施(2月9日、3月9日、7月6日、10月31日)
- ・ 松山・東温感染対策協議会(感染対策向上加算1算定5施設による会):総会(3月15日)
- ・ 感染対策向上加算に係る相互ラウンド
評価受審:1月27日 愛媛大学医学部付属病院
評価実施:①松山赤十字病院(2月20日)、②四国がんセン

ター(11月14日)

⑥ 感染対策の推進

- ・ 院内感染対策に関する研修会の企画・運営
- ・ 感染対策マニュアルの作成、改訂と周知
- ・ 標準予防策遵守向上に向けての取り組み
- ・ 現場での感染対策に関する指導やコンサルテーション
- ・ ケアプロセス監査会への参加
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策

⑦ 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)活動

- ・ ASTメンバーと共に研修会の企画・運営
- ・ 血培陽性者・ASTコンサルテーション・抗菌薬長期使用者の患者さんの情報収集

○手術看護認定看護師活動:渡部早人、今井幹也

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
4月7日	1年次研修医オリエンテーション ガウンテクニック・手術時手洗い方法について	1年次研修医

■ 院内勉強会(企画・支援)

開催日	テーマ(内容)	参加
4月7日	感染管理、手術室の環境、手術時手洗い、ガウンテクニック	手術室新人・転入看護師6名
4月10日	OP室オリエンテーション、手術室の構造と業務、各種マニュアル・手順、教育体制	手術室新人・転入看護師6名
4月11日	OP室内オリエンテーション 洗浄、組み立て、滅菌、器械の管理、手術室清掃	手術室新人・転入看護師6名
4月14・15日	器械展開・カウント方法 補助台カバーの装着方法、使用済み器械の回収方法	手術室新人・転入看護師6名
5月18日	針刺し防止対策について	手術室新人看護師3名

(2) 院外活動

■ 院外研修(依頼)

開催日	名称(テーマ)	対象
8月10日	JICA病院視察	アジア・アフリカ地区病院長など19名
9月1日	松山看護専門学校 成人看護学「手術を受ける患者の術中看護」	松山看護専門学校
10月20日	JICA母子医療施設視察	タンザニア母子医療スタッフ5名

■ 学会・研修会参加

開催日	名称
6月3日	第16周手術期管理チームセミナー
7月15日	第53回日本手術看護学会四国地区学会
10月27・28日	第37回日本手術看護学会年次大会

<実践>

- ・ 定期手術患者および緊急手術患者の器械出し看護業務・外回り看護業務を実践しました。
- ・ 中央材料部において手術器械の洗浄・滅菌・組み立てを実践しました。
- ・ 手術器材、中材部門の固定資産整備計画を実施しました。

<指導>

- ・ 手術看護業務(器械出し看護業務・外回り看護業務)に対

して、スタッフに日々指導を継続しました。

- ・ 外回り看護業務を経験し始めたスタッフに対して勉強会を実施し、指導することで質の担保ができました。
- ・ 中央材料部において手術器械の洗浄・滅菌・組み立ての指導を行い、インシデント低減に繋がりました。
- ・ 手術室・中央材料部でのCOVID-19患者の対応について、見直しと指導を行いました。

<相談>

周術期に関連する内容について随時対応しました。また、手術室チーム活動に対して相談を受け、対応しました。

○小児救急看護認定看護師活動:藤原優子

(1) 院内活動

■ 院内研修

開催日	名称	対象
4～7月	小児医療センター新採用者勉強会(計2回)	新採用者、転入者
4～12月	小児BLSスキルチェック支援	小児医療センタースタッフ・小児科外来の全スタッフ
6月12・13日	フィジカルアセスメントII研修	ラダーIIIトライ看護師
6～12月	気管カニューレ自己抜去時の対応訓練支援	小児医療センターの全スタッフ
7月31日、8月1日、9月7・8日	フィジカルアセスメントI研修	2年目看護師
11月14日	小児急変時対応勉強会	各部署看護師・放射線技師
3月5日	小児急変時対応勉強会	4階フロア看護師

■ 院内活動 委員会

開催日	名称
2016年4月～	虐待防止委員会(第4月曜日/月) 虐待防止委員会コアメンバー活動 松山市連絡調整会(第3水曜日/3か月)

(2) 院外活動

■ 院外活動

開催日	名称	対象
7月22・23日	小児救急医学会学術会「小児救急現場での心理的安全性」発表	学会員

■ 学会・セミナー参加(Web 開催)

開催日	名称
1月7日	小児看護学会倫理研修
3月5日	小児科医学会倫理フォーラム
7月22・23日	小児救急医学会学術会

<実践・指導・相談>

- ・ 小児BLS技術習得、急変時対応についての学習支援や振り返りを行い、自部署と関連部署を横断して課題を見出し、それぞれの課題達成支援を行い、教育と環境整備に取り組みました。
- ・ 経年別のフィジカルアセスメント研修を通して、院内のスタッフ育成・指導に貢献しました。
- ・ 乳幼児の事故防止指導や虐待対応を行うことや普段からの育児支援を通して、虐待防止委員として虐待予防活動を実践しました。
- ・ リスクマネジャーと協働し、院内の小児救急関連物品の整備管理を実施し、相談対応を行いました。

○皮膚・排泄ケア認定看護師活動:久保美千代、和田理枝

(1) 院内活動

<創傷ケア委員会、創傷ケア検討部会>

- 開催:第1木曜日(検討部会13:30~16:00、委員会16:30~)

【目標】

- 褥瘡・ハイリスクケア加算対策の実践
「褥瘡推定発生率0.8%、医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)推定発生率を0.8%とする」
- 褥瘡ハイリスク患者ケア:519件
- 褥瘡・ハイリスク患者のラウンド:1,429名
- エアマット管理
- 褥瘡チーム回診 褥瘡・褥瘡ハイリスクおよびカンファレンス:124名
- 創傷発生時のカンファレンス実施率:82.9%

■ 創傷データ

	2023年創傷データ	2021年日本褥瘡学会
褥瘡推定発生率	0.8%	1.15%
褥瘡有病率	1.9%	2.37%
医療関連機器圧迫創傷	0.7%	0.3%

① リンクナースの育成

② 褥瘡対策診療計画書の確実な運用

- 褥瘡対策診療計画書のデータ報告
- マニュアル修正 RPAを活用した運用システム

■ 院内研修(企画)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
2月12日	「がん化学療法を受ける患者のスキンケア」	外来創傷係	7名
3月23日	「ストーマサイトマーキング」	関連部署スタッフ	10名
5月25日	リンクスタッフ勉強会:褥瘡対策診療報酬	創傷ケアリンクスタッフ	講義24名
6月16・21・29日	「褥瘡の診断と評価」「褥瘡の診療報酬」	専任医師 専任看護師	講義472名
7月20日	リンクスタッフ勉強会「皮膚から何を見る」「褥瘡評価」「褥瘡対策診療計画書について」「摩擦ずれの予防」	創傷ケアリンクスタッフ	講義・実習24名
10月19日	リンクスタッフ勉強会「褥瘡対策診療計画書」「褥瘡はなぜ発生する」	創傷ケアリンクスタッフ	講義・実習24名
11月16日	自動体位変換オスカー	6階西スタッフ	実習10名
12月14日	リンクスタッフ勉強会「褥瘡対策診療計画書作成・評価」「自動体位変換 オスカー」	創傷ケアリンクスタッフ、スタッフ	講義24名

<ストーマリハビリテーションチーム会>

- 開催:5・8・11・2月 第3月曜日(13:30~16:00)

<実践/相談>

- ストーマ造設患者の術前・術直後より介入し、精神的なサポートや術後創感染や早期合併症の対応、装具選択、ストーマケアの介入を行いました。
- 退院後はストーマ外来で皮膚障害や晩期合併症の対応を行い、日常生活でのサポートを実践しました。

<指導>

- ストーマケアに関わるスタッフを育成し、院内の標準化と質の向上を図るため、ナースングスキルを活用した評価や勉強会を予定通り開催しました。装具選択や合併症の対応などフォローが必要であり、アセスメント能力を高めレベルアップできるよう継続して指導していきます。
- 管理困難な事例に対し、2022年度に作成した情報提供書(クライオ画像付)を活用したケアの継続ができるように地域の関連施設と連携を図りました。

	2021	2022	2023
ストーマ外来処置件数	672	686	618
ストーマ在宅療養指導料件数	525	592	736
人工肛門・膀胱造設術前処置加算	94	90	98
人工肛門・膀胱造設術前処置(予定)	100%	100%	100%
人工肛門・膀胱造設術前処置(緊急)	100%	100%	91%

	泌尿器科	消化器外科
在院日数(予定/緊急)	22.5日	20日/24.1日
退院前カンファレンス実施率	6件(50%)	60件(75%)

<排尿ケアチーム会>

- 開催:3・6・9・12月 第1金曜日(17:30~18:00)

<排泄ケア検討部会>

- 開催:奇数月 第3月曜日(13:30~16:00)

<実践/指導>

- RARP術後患者のラウンドを行い、骨盤底筋訓練指導や外来での尿失禁に対し、排尿用具の紹介やIAD予防などについてケアを実践しました。
- 頸椎損傷後の尿閉や下部尿路機能障害をもつ患児や患者へのケア介入や尿閉に対し自己導尿指導を行いました。
- 次年度は、術後の神経因性膀胱などによる排尿困難や脳卒中患者を対象に排尿自立ケアやCIC指導など、実践できるように取り組んでいきます。

■ 排尿自立支援加算および排尿自立指導料(外来)

	2022	2023
排尿自立支援加算数	164	113
排尿自立指導料	241	185

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
①4月28日 ②6月5日	新人II期研修 ①安全安楽なおむつ交換と失禁ケア②創傷予防対策(褥瘡・スキンケアMDRPU・ポジショニング)	新人看護師	61名
10月28日	スキンケアについて	研修医	20名

■ 院内研修(企画)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
5月15日	装具選択(SPAツール)	SRチーム会	5名
7月28日	「排尿自立支援加算と排尿ケア」について	排尿検討部連携ナース	4名
8月21日	ストーマ用品について	SRチーム会	5名
9月22日	「間欠的自己導尿」について	排尿検討部連携ナース	4名
11月20日	ストーマ合併症(ABCDストーマ)について	SRチーム会	5名
11月24日	「排尿日誌 LUTSアセスメント方法」	排尿検討部連携ナース	4名

(2) 院外活動

■ 院外活動(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	参加
6月17日	看護基礎研修II 造血幹細胞移植拠点 病院セミナー「移植後 早期の支持的ケア ス キンケア」	造血細胞移植 看護に関わる 看護師	講義33名
9月12日	「急性期看護」	看護学生48期 生2年	講義・実習 29名
10月8日	四国SR講習会 実習	ストーマケアに 関わる看護師	講義・実習 26名

<企画・運営>

- 講習会企画:四国ストーマリハビリテーション講習会教育
委員財務委員
- 愛媛ストーマ排泄リハビリテーション研究会:コアメンバー

■ 学会(参加・座長・発表・共同演者等)

開催日	名称	テーマ(内容)
2月11・12 日	第3回日本フットケア・ 足病医学術集会(Web)	「NewHorizon足の新時代」 参加
3月19日	第23回日本褥瘡学会 中国四国地方会学術 集会	「多発性褥瘡に対し多職種 の連携によるアプローチが 有効であった1症例」発表
6月24日	第36回愛媛SR研究会	「ストーマサイトマーキング を受けた患者の思い」「高 齢者のオストメイトの在宅に 向けた退院支援について」 共同演者
7月8・9日	第32回日本創傷・オス トミー・失禁管理学会学 術集会(Web)	「未来への躍進とたゆまぬ 努力」参加
9月1・2日	第25回日本褥瘡学会 学術集会	「当院創傷委員会による院 内スキンケア用品の標準化 に向けた取り組み」共同 演者
12月22・ 23日	第4回日本フットケア・ 足病医学術集会(Web)	「Challenge!花ひらく足病医 療の未来へ」参加

○摂食・嚥下障害看護認定看護師活動:山下かおり

<2023 年目標>

- 正しい知識・技術を持った口腔ケアや摂食機能訓練、食
事ケアの提供を行い、誤嚥性肺炎予防・機能低下予防に
努めます。
- 入院後誤嚥性肺炎発症患者の低減に向けた働きかけを
組織横断的に取り組み、2022年度の発症数より低下させ
ます。

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象	依頼
5月19日	新人II期研修「患者観察」	新人看護師	看護部
6月16日	新人II期研修「呼吸を整える」	新人看護師	看護部
7月18日	新人II期研修「フィジカルアセスメント」	新人看護師	看護部

■ 自部署研修

開催日	テーマ(内容)	対象
7月4日	摂食嚥下障害看護 全般	9階西病棟
8月25日	摂食嚥下障害看護 全般 栄養について	11階東病棟

■ ラウンド

開催日	内容
4月～	NSTラウンド 毎週水曜日:隔週に参加

(2) 院外活動

■ 院外研修

開催日	内容
6月19日	復職支援技術研修 安全な食事介助
7月4日	多施設合同新人看護職員研修
8月24日	看護人材派遣研修 西条市民病院
10月17日	看護人材派遣研修 老人保健施設伊予ヶ丘
10月27日	復職支援技術研修 安全な食事介助
10月29日	POTT研修
10月31日	看護人材派遣研修 西条周桑病院
12月21日	復職支援技術研修 安全な食事介助

■ 学会・セミナー参加

開催日	名称
5月14日	愛媛県摂食嚥下研究会
9月2・3日	第29回摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
12月3日	第12回口腔ケア研究会

(3) 実践・指導・相談

- 脳神経外科・脳神経内科、頭頸部がん患者などの嚥下障
害患者の評価・スクリーニングを行い、訓練やリハビリを多
職種でカンファレンスしながら実践に取り組みました。
- 食事介助や食事姿勢、および口腔ケアラウンドを実施し他
者評価を行い評価スタッフにフィードバックしました。
 - 摂食嚥下評価人数:72名
 - スクリーニング施行患者:5名
 - STとの食事ラウンド件数:41名
 - 認定単独での食事ラウンド件数:103名
 - 摂食機能療法算定件数:218件
 - 摂食嚥下支援加算2件数:6件
- 2023 年度の入院後誤嚥性肺炎患者の分析・現状報告を行
いました。新たに摂食嚥下機能簡易チェックリスト 3 病棟導
入し、7 病棟に拡大、病棟へフィードバックしました。
 - 入院後誤嚥性肺炎発症件数:64件
 - 入院患者における発症率:0.39%
- 院内摂食嚥下チームの立ち上げに伴い、マニュアルの整
備を行いました。毎月摂食嚥下チームで事例検討や支援
加算対象患者のカンファレンスを実施しました。
- 食事提供されていない患者のとりみ剤確保を行いました。

○認知症看護認定看護師活動:玉利未来

(1) 院内活動

■ 院内研修

開催日	テーマ(内容)	対象
1月20日	せん妄勉強会	10階東病棟多職種23名
6月2・5日	せん妄勉強会「不眠時・不 穏時に使用される薬剤に ついて」	8階西病棟看護師18 名
6月22日	新規採用看護職員II期研 修「せん妄予防」	新採用者52名
6月23日	認知症ケアと加算について	12階東病棟看護師14名
8月3日～ 9月30日	認知症看護(e-learning)	院内全看護師対象
8月8日	認知症ケアと加算について	10階東病棟看護師11名
9月5日	認知症ケアと加算について	10階西病棟看護師12名

9月28日	せん妄の治療と対策	ICU看護師4名
10月24日	看護補助者研修「急性期病院で治療する認知症のある患者を理解する」	看護補助者71名
10月27日	せん妄治療によく使用されている薬剤と睡眠剤について	11階東病棟看護師13名
11月13日	認知症ケアと加算について	9階東病棟看護師16名
12月4日	夜勤看護補助者研修「高齢者の対応」	夜勤補助者
12月12日	認知症ケアと加算について	9階西病棟看護師8名

＜認知症ケア加算 1:認知症ケアチーム活動＞

① 算定病棟の拡大

- ・ 7月18日～12階東病棟開始
- ・ 9月4日～10階東病棟開始
- ・ 10月2日～10階西病棟開始
- ・ 12月18日～9東病棟開始

※12月末時点で8病棟の算定

② 認知症ケアチームカンファレンス・巡回

■ カンファレンス

開催日	内容
毎週水曜日(15時～16時30分)	認知症ケアチームカンファレンス

- ・ チーム介入対象患者数:204名
- ・ カンファレンス数:126回

■ 巡回

開催日	巡回時間:対象病棟
毎週火曜日	14時:6階東病棟、14時30分:6階西病棟
毎週木曜日	11時:10階西病棟、14時:8階西病棟、15時:9階東病棟、15時30分:9階西病棟、16時:12階東病棟
毎週金曜日	11時:11階西病棟、13時:12階西病棟、14時:11階東病棟 14時30分:10階東病棟

- ・ 巡回数:600件

③ 認知症ケア加算 1 算定数:1,876 回

④ 認知症ケア・せん妄対策マニュアルの改訂

※12月1日更新を行い、各部署のマニュアル冊子を改訂版に置き換えました。

＜せん妄ハイリスク患者ケア加算＞

- ・ 算定数:9,851件
- ・ 算定率:92%

(2) 院外活動

＜企画・運営＞

- ・ 愛媛県看護協会 認知症看護研修担当者

■ 院外研修:講師

開催日	名称	対象
5月20日	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	県内の訪問看護テーション看護師等

■ 学会・セミナー参加

開催日	学会・セミナー名
6月3日～12月26日	第24回日本認知症ケア学会大会(Web)
6月16日～18日	第28回日本老年看護学会学術集会
11月24日～26日	第42回日本認知症学会学術集会

(3) 実践・指導・相談

＜実践＞

- ・ 病棟看護師が関わりについて悩んでいる症例に対して、認知症の人が感じている生活上の困りごとを代弁し、ご家族と共に安心して入院生活が送れるように、患者訪問や家族面談を行いました。
- ・ 必要に応じて認知症スクリーニングを実施し、対象者の認知機能評価を実施しました。

＜指導＞

- ・ 認知症のある患者やせん妄を発症した患者に対し、認知機能障害の症状アセスメントや多職種連携、せん妄発症要因の検索と対応の助言を行い、ケアの方向性を導いて実践に繋ぐサポートを行いました。
- ・ 認知症に関する院外研修に参加した研修生の部署で行う事例検討会の企画と開催を支援しました。

＜相談＞

- ・ コンサルテーション件数:145件
- ・ 認知症の発症から終末までの各時期に応じた相談内容に対応し、多職種でカンファレンスを行いながら対応策を導く活動を行いました。
- ・ せん妄発症前や発症後の相談にはリスク因子を同定した上で、対応方法や薬剤選択について適宜臨時カンファレンスを主催し、多職種で検討を行いました。

○糖尿病看護認定看護師活動:兵頭佳代子

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	テーマ(内容)	対象
5月29日	県立病院看護職員合同研修(新人2期)「血糖測定とインスリン注射」	院内現任教育委員会:新規採用者

■ 院内勉強会(企画・支援)

開催日	テーマ(内容)	対象
3月17日	糖尿病教育入院の看護師の講義のコツ	6階西病棟看護師
3月18日	CSII療法について	6階西病棟看護師
5月10日	CSII療法について	6階西病棟看護師
6月7日	血糖パターンマネジメントについて	6階西病棟看護師
7月18日	糖尿病と手術の関係	産科病棟看護師
7月28日	妊娠と糖尿病	6階西病棟看護師

(2) 院外活動

■ 院外研修:講師

開催日	名称	対象
11月13日～12月11日	糖尿病・内分泌疾患患者の看護	松山看護専門学校

■ 学会・セミナー(参加・座長・発表・共同演者等)

開催日	名称	備考
7月13日	第10回足を学ぶ会「急性期病院におけるフットケアの現状と課題～多職種連携で患者さんを支える～」	発表
9月23・24日	第28回糖尿病教育・看護学会学術集会	参加

(3) 実践・指導・相談

＜実践＞

- ① 外来・病棟で糖尿病患者、家族に対して療養支援を行いました。
- ・ 外来での療養支援件数:50件

- 在宅療養指導料算定延べ件数:14件
糖尿病教育入院多職種カンファレンス(毎週金曜日17時30分～18時30分)
- ② 透析室看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師と透析室でフットチェックラウンドを実施し、足病変のハイリスク状態の患者さんに対してケアの方法を指導しました。(毎月第3火曜日 or 金曜日 10時30分～)
- ③ 入院中の糖尿病足病変のハイリスク患者(透析患者、LEAD)に対してフットケアを行い、退院後のセルフフットケア方法を指導し、必要時外来看護師と情報共有しました。(介入患者数:39名)
- ④ 病棟入院患者に対し、兼任日に病棟看護師と共に CSII 療法、インスリン自己注射・自己血糖測定指導、低血糖、シックデイ等の指導を行いました。(介入延べ患者数:29名)

<指導>

- ① 外来、病棟で糖尿病患者・家族への療養支援を通して役割モデルを示し、スタッフへ指導を行いました。
- ② 糖尿病関連のインシデント発生時にはマニュアル改定やポスターの掲示をすることで再発防止に努めました。
- ③ 糖尿病個別教育入院での看護師の講義について、療養指導士が主体的に考えることができるように支援しながら、テキストの改定、個別指導フローチャートを作成しました。

<相談>

糖尿病看護領域の相談に対して、看護の視点とアセスメント、具体的な支援方法を示しました。

- ① コンサルテーション件数:17件
- ② 依頼内容
 - 1型糖尿病リブレ使用中の手術時の対応、支援
 - 1型糖尿病合併妊娠中のCSII療法の管理と支援
 - 血糖自己測定、インスリン自己注射をしながら在宅へ退院となる患者さん・家族の支援(認知症、高齢者、独居等)
 - 糖尿病患者さんへの心理的アプローチなど

○慢性心不全看護認定看護師活動:重川みか

(1) 院内活動

■ 部署勉強会(依頼、企画)

開催日	テーマ(内容)	対象
5月26日	「ASV療法について」	6階西病棟スタッフ
7月19日	「心不全看護 Part1」	6西病棟スタッフ
8月23日、9月6日	「心不全とその看護について」	8階西病棟転入・新人看護師
9月27日	「患者・家族の意向に沿った退院支援」	8階西病棟スタッフ

(2) 院外活動

■ 看護学校講義

開催日	テーマ(内容)	対象
1月24・31日、2月7日	循環器疾患患者の看護	聖カタリナ学園看護科専攻科1年生33名(2022年度)
9月26日、10月3日	循環器疾患患者の看護	聖カタリナ学園看護科専攻科1年生39名(2023年度)

■ 院外研修 講師

開催日	名称・テーマ	対象	備考
1月13日	多職種で学ぶ心不全WEB勉強会－e-MUT－「つなぐ つなげる医療連携 心不全の基礎知識」発表	愛媛県内における医療従事者	Web
5月12日	第5回四国慢性心不全看護認定看護師事例検討会 発表	四国内の慢性心不全看護認定看護師	Web
9月9日	第9回慢性心不全看護認定看護師教育課程フォローアップ研修 実行委員	全国の慢性心不全看護認定看護師	Web

■ 学会・セミナー参加

開催日	学会名
9月16・17日	第20回日本循環器看護学会学術集会(Web)
10月6～8日	第27回日本心不全学会学術集会(現地開催)

(3) 実践・指導・相談

<実践>

- ① 心不全入院患者の生活調整などの療養指導や症状緩和、意思決定支援等、多職種(医師・病棟スタッフ・理学療法士・薬剤師・栄養士・地域連携室看護師)で連携しながら取り組みました。
- ② 心臓リハビリカンファレンス:毎週水曜日 17:00～17:15
- ③ 医師と連携し不定期で心不全カンファレンスを行い、症例によっては多職種にも協力を依頼し、介入の方向性を検討しました。

<指導>

- ① 6階西病棟に循環器内科患者を受け入れるにあたり、昨年度に引き続き病棟スタッフに対し、勉強会の開催や日々の看護実践・看護記録を通して、心不全看護について指導を行いました。
- ② 心不全の病態生理や療養指導のポイント、意思決定支援等、勉強会や看護実践を通して指導しました。

<相談>

病棟看護師から心不全終末期にある患者さんの意思決定支援、行動変容が難しい患者さんへの指導方法、初回心不全発症患者への対応等についてコンサルテーションがあり、対応しました。

- コンサルテーション件数:2件

○クリティカルケア認定看護師活動:越智康弘

(1) 院内活動

■ 院内研修(依頼)

開催日	内容	対象	依頼
5月19日	フィジカルアセスメント①	新人看護師	院内現任教育
6月16日	フィジカルアセスメント②	新人看護師	院内現任教育
7月18日	フィジカルアセスメント③	新人看護師	院内現任教育
7月31日、8月1日	フィジカルアセスメントI	ラダーIIIトライ看護師	県立病院課
9月7・8日	フィジカルアセスメント(2回目)	ラダーIIIトライ看護師	県立病院課

■ 院内勉強会(企画・運営)

開催日	内容	参加
4月6日	ICUに入室する患者の特徴	ICU新人看護師
5月29日	全身麻酔術後の基礎知識	ICU新人看護師

8月28日	栄養	ICU看護師
10月23日	リハビリ	ICU看護師
2月26日	鎮痛・鎮静・睡眠	ICU・救命ICU・救命HCU看護師

(2) 院外活動

■ 学会・セミナー参加

開催日	内容
9月20日	CCRIセミナー「基礎と臨床例から学ぶ急性期リハビリテーション」(Web)
11月	JSEPTIC看護部会セミナー「エビデンスに基づく早期回復支援」(オンデマンド)
2月	JSEPTIC看護部会セミナー「帰ってきた!ICU患者の術後ケア」(オンデマンド)
3月14・15日	第51回日本集中治療医学会学術集会

(3) 実践・指導・相談

<実践>

① 多職種カンファレンス

ICU に長期入室している患者を対象に、多職種カンファレンスが定期的に行えるように開催方法などを検討し、毎週末を基本として9月1日から開始しました。1月31日までで15名、延べ27回実施し、方針の共有や看護に繋がりました。

<指導>

多職種カンファレンスを行うにあたって、特に必要と考えた3つのテーマに沿って勉強会を実施しました。アンケート結果では今後に活かせると回答しているスタッフが80%以上おり、今後は実際に活かしているかどうかの確認や具体的な介入方法などについて支援していきたいと考えています。

<相談>

病棟での急変対応事例のカンファレンスにオブザーバーとして参加し、対応しました。

(2) 論文・著書

- 山崎誠、三上剛人、田口裕紀子. 脳血管障害、熱性けいれん. もしもの時にすぐに動ける応急処置 52 シーン. 日本看護協会出版会. 39-44,51-53 (2023.1)
- 山崎誠、木澤晃代. そわそわして落ち着きがない. 気づいて動ける急変対応. 照林社. (2023.3)

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 伊豫田渚、松永佳余子. 手術室経験6年未満スタッフのコミュニケーションエラー関連要因の検討. 第42回愛媛看護研究学会. Web開催 (2023.2.20-3.2)
- 志女木智奈美、中田麻美、三瀬和人. 初回嚥下テスト勉強会後の看護師の意識変化～介入時の不安・苦手意識を軽減するための取り組み～. 第42回愛媛看護研究学会. Web開催 (2023.2.20-3.2)
- 石丸亜姫、寄能篤恵. 中堅チームリーダー看護師がモチベーション維持に繋がった支援. 第42回愛媛看護研究学会. Web開催 (2023.2.20-3.2)
- 和田理枝、武智由美子、中村順子. 多発性褥瘡に対し多職種の連携によるアプローチが有効であった1症例. 第23回日本褥瘡学会中国四国地方会学術集会. 鳥取 (2023.3.19)
- 宇都宮麻美子. 新型コロナウイルス感染妊婦から出生した新生児の対応を振り返って. 第40回四国新生児医療研究会. Web開催 (2023.6.3)
- 久保真奈美、仙波未樹、渡部早人、一ノ宮喜美江、松永佳余子. 手術室教育における思考発語と臨床判断の勉強会を取り入れた効果. 第61回全国自治体病院学会 in 北海道. 札幌 (2023.8.31-9.1)
- 橋本望、二宮まどか、近藤諒太、松本聖. 手術室における超過勤務時間の削減. 第61回全国自治体病院学会 in 北海道. 札幌 (2023.8.31-9.1)
- 三原尚子、赤穂こずえ、和田理枝. 当院創傷委員会による院内スキャンケ用品の標準化に向けた取り組み. 第25回日本褥瘡学会学術集会. 神戸 (2023.9.1-2)
- 岡本千愛、永井功造、武田千津、本多伸光、阿部カナエ、松本和美、井上由美、名和由一郎. 当院のAYA世代がん支援チームの活動指針～緩和ケアスクリーニングからの考察～. 第36回日本サイコロロジー学会総会. 奈良 (2023.10.6-7)